

令和3年第6回定例会一般質問通告事項

12 月 8 日	<p>加納康平議員（公明党・木曜会） 質問方式：一問一答方式</p> <p>1 地域公共交通網形成計画の現状と今後について</p> <p>(1) 地域公共交通網形成計画策定の目的は、「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものであり、大事な視点は地域住民の暮らしを支える交通網の維持・確保と高齢者など交通弱者を含めた誰もが安心して移動できる環境づくりであるとしているが、これまでを総括して、計画期間中どのような進捗で目標達成できたか、浮かび上がった主な課題は何か</p> <p>(2) 人口減少や少子高齢化が進展していくなか、運行（運航）するバスやフェリー業者においても運転手・乗組員の高齢化や人材不足により公共交通サービスの低下が懸念されています。多様な交通を組み合わせ、便利で効率的な地域公共交通網再構築の現状を伺う</p> <p>(3) 地域公共交通の需要の維持と持続可能性を実現するには運行事業者と利用者双方のニーズを分析した上で、打開策を導き出さねばならない</p> <p>ア 高齢者の免許返納状況はどのようになっているか</p> <p>イ また、高齢者の公共交通の利用実態とニーズをどのように考えているか</p> <p>ウ 地域公共交通の運転手・乗組員などの人材はどのようになっているか</p> <p>(4) 利用者減のなか、利便性の向上と運営事業者にとっては相反する命題であるが、以下3点について伺う</p> <p>ア 障がい者、就学の児童・生徒の利用実態は</p> <p>イ 市民に対する公共交通機関利用促進策についてのアプローチは</p> <p>ウ 運行事業者は利用者増の為に、便利で連続した乗り換えや接続方法など公共交通網の利便性向上と効率化についてどのような対策がなされたか</p> <p>(5) 利用実態と求める意識が必ずしも一致していない。これまでこの現状を①市民と②運行（運航）事業者に対してどう伝え、解消するべく取り組んできたか伺う</p>
-------------------	--

